

タイトル：**地域の宝ハマウツボ  
未来につなごう個体数・体長調査**

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	高雄の宝 ハマウツボ個体数調査・体長調査
日時	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハマウツボ個体数調査 令和5年6月12日（月）10：25～11：50 ※雨天の場合は6月14日（水）13：00～14：25</li> <li>ハマウツボ体長調査 令和5年6月13日（火）13：40～14：50 ※雨天の場合は6月15日（木）13：40～14：50</li> </ul>
場所・住所	場所： 高雄小学校東 千種川河川敷
<p>☆趣旨・目的（PRしたいこと）</p> <p style="text-align: center;"><b>【ハマウツボ個体数調査】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハマウツボは、兵庫県絶滅危惧種Aランクに指定されている希少植物で、カワラヨモギの根に寄生しながら成長します。</li> <li>ハマウツボの個体数調査は、高雄小学校6年生がハマウツボ保全活動の一環として、2004年から継続的に行っています。今年度は、6年生の人数が少ないため5年生と合同で行います。6年生は、これまでの経験から得た知識を5年生に伝えることで、5年生は6年生から聞いたことを実体験しながら考えることで、互いの学びを深めていきます。また、協力して作業を行うことで、ハマウツボを大切にしたい気持ちを高め、ふるさと高雄を愛する心も育てていきます。</li> <li>2004年に17本からスタートしたハマウツボの個体数は、2021年には、4470本を数えるまでに増えました。地域の方と子どもたちが協力して進めてきた取組の一つの成果となっています。</li> <li>個体数調査は、ハマウツボの花が一様に枯れた6月初旬から中旬に、ハマウツボの横に木札を一枚一枚置いて数えます。成長せず枯れてしまったものや他の植物に埋もれているものも見つけて数えるため、調査には時間と根気が必要です。そのため、講師の木村繁之先生や高雄小学校学習ボランティアの力を借りて調査を行います。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【ハマウツボ体長調査】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハマウツボの体長調査も6年生が行う大切な活動です。ハマウツボの体長は、文献では、10～25cmとなっていますが、それは本当かを調べます。</li> <li>2018年の調査では、高さ最高33.5cm、最低5cm、10cm以上の個体64%という結果から、「高さは10～25cmに伸長する」ことを子どもたちも実感し、ハマウツボだけでなくそれが育つ地域の環境に感動していました。</li> <li>当日は、講師の木村繁之先生のご指導のもと、さらなる科学的な視点で調査を進めていきます。</li> </ul>	
問い合わせ先	学校園所名： 赤穂市立高雄小学校 校園所長名（担当者名）： 校長 池田（教頭 田中） 電話： 48-7870 FAX： 48-7824